

活動スケジュール

回	開催日	開催場所・開催内容等
1	日程調整中	<p>【開催テーマ】：「著作権法第31条改正と大学図書館」</p> <p>【開催概要】 著作権法第31条の改正によって、2022年5月からは、国立国会図書館による絶版等資料の個人向けのインターネット送信が開始され、翌年度には、図書館等による図書館資料の公衆送信の開始が見込まれている。 著作権法改正を契機として、今後の大学図書館に求められる機能や役割については、さらに変化が続いていくことが想定される。 そのため、著作権法第31条改正を契機として大学図書館の機能や役割の変化について理解を深める。</p> <p>【参加することで得られる成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権法第31条改正の内容理解 ・著作権法改正が今後の各大学図書館運営に与える影響 ・今後の大学図書館の新たな機能、役割について
2	7月中旬	<p>【開催テーマ】：「国立国会図書館のデジタルシフトと大学図書館」 「大学図書館と国立国会図書館のデジタルシフト」</p> <p>【開催概要】 2021年4月1日に公開された「国立国会図書館ビジョン 2021-2025-国立国会図書館のデジタルシフト」は、多様な情報資源を提供するユニバーサルアクセスを実現する事業と、そのための国のデジタル情報基盤の拡充を図る事業から構成されている。現在、デジタル・アーカイブの利活用の促進や入手困難資料の個人への送信サービスの向上、視覚障害者等用データ送信サービスのコンテンツ増大などの施策が進められているところである。 これらの影響は、大学図書館にとって、利用者へのサービス提供だけではなく、多面的な変化を大学図書館にもたらすと考えられます。 国立国会図書館のデジタルシフトの理解を深めるとともに、各大学図書館のデジタルシフトについて考える場としたい。</p> <p>【参加することで得られる成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国立国会図書館ビジョン 2021-2025-国立国会図書館のデジタルシフト」の理解 ・デジタルシフトが各大学図書館に与える影響と必要な対応について
3	1月	<p>【開催テーマ】：「オープンサイエンスと大学図書館」</p> <p>【開催概要】 オープンサイエンスを推進するために、各大学では研究データ管理や学術情報や資料の公開が求められている。各大学の対応は様々で、大学図書館がその役割の中心を担うケース、研究部門を中心として間接的に大学図書館が関与するケースなど様々である。 事例紹介を交えながら、各大学図書館がオープンサイエンスへの対応をどのように進めるか考える場としたい。</p> <p>【参加することで得られる成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究データ管理に関わる大学図書館の事例紹介 ・オープンサイエンスについての理解